

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

Purpose（存在意義）

世界が進むチカラになる。社会やお客さまなどのステークホルダーが次に、前に進むために、力になりたいとの思いを込めた存在意義

② 中長期の経営戦略

1. ウェルス領域の強化

マルチアカウント活用やストック型ソリューション拡充。三菱UFJ eスマート証券との連携深化で利便性と付加価値を両立

2. 市場商品領域の多様化

日本国債中心のフィクストインカム競争優位性維持・強化。デリバティブ、クレジット、ファイナンス等で収益源多様化

3. 投資銀行領域の展開

MUFGグループ顧客基盤とモルガン・スタンレーの商品力・情報力を融合。エクイティ、債券引受、M&Aアドバイザリー強化

4. 海外事業の再編完了

2025年10月1日に海外証券事業グループ内再編完了。株式会社三菱UFJ銀行傘下に統合し銀行・証券一体運営基盤整備

③ 対処すべき課題

① 収益構造の高度化と競争力強化

- ・ 中期経営計画最終年度に向けた収益構造の高度化が重要課題
- ・ 国内事業中心に収益力強化と基盤整備を推進中

② フィッシング詐欺・不正アクセス対策

- ・ 証券口座狙ったフィッシング詐欺・不正アクセスが社会問題化
- ・ 経営陣主導の全社横断対応体制構築で被害抑止・検知・防止に注力
- ・ フィッシング耐性高い認証方式導入で不正アクセス検知・モニタリング機能を高度化

③ ガバナンス態勢の強化

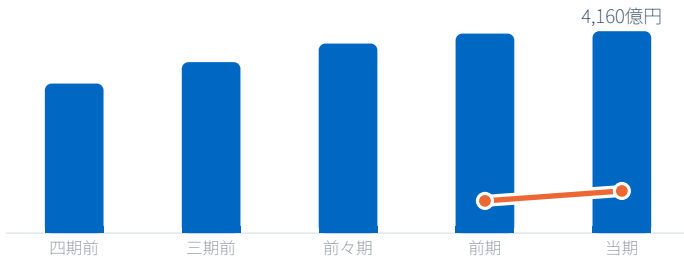
- ・ MUFG Way の社内浸透で一人ひとりが正しい行動を実践
- ・ 顧客本位の業務運営原則に基づく適切な勧誘販売態勢整備
- ・ システム投資のITガバナンス強化で投資案件適切管理を実施

面接で使えるポイント

- ・ MUFG Way の「世界が進むチカラになる」という存在意義のもと…
- ・ 2025年10月1日の海外証券事業再編完了で、銀行・証券の枠組みを超えた一体運営で新段階へ進化
- ・ フィッシング詐欺対策で全社横断体制を構築し、顧客保護と信頼を重視する経営姿勢を実践

EDINETコード E03771

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,302億円営業利益率
66.7%財務健康度
30点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 39.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

